

Ensemble14

第13回演奏会

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Shinzou", is centered on the page. The signature is written in a cursive, flowing style.

2008年1月13日(日) 14:30開演
津田ホール

皆様あけましておめでとうございます。

新春早々アンサンブル14の演奏会に足をお運びくださいまして誠に有難うございます。今年も沢山バッハを聴き、指揮し、歌う一年でありますようにと、心から願っております。

昨年11月のとある土曜日の朝、九州の某県にお住まいの筈の私の敬愛して止まない小林道夫先生と、JR新宿駅でお目にかかる幸運な時間に恵まれました。その日は丁度アンサンブル14と、マタイ受難曲を演奏する別のグループの練習日で、正しくバッハ漬けの日の朝に、「私の大バッハ」に遭遇出来ました事は本当に様々な思いを新たにさせられました。

小林先生から私が学んだ一番大きなこと・・・それは次の一言でした。「世界中の演奏家の方々と接してきて痛感することは、本当の一流演奏家は、人間的にも皆一流だったよ！」というお言葉でした。

そしてもう一つ、小林先生はいつもご自身が音楽を演奏されることを愛し、そして何より感謝しておられました。

私がもしバッハを学んでいなかったら、小林先生に出会っていなかったら、バッハを通しての友人を持ち得なかったとしたら、そう考えるだけでゾッとしてしまうほど、私は今自分の運命に感謝をしております。

今アンサンブル14の仲間達とカンタータを演奏できることは、私に対する神様のご褒美としか思えません。本当に幸せなことです。ただそれが私のどういうところへのご褒美なのかは皆目見当が付かないのですが・・・。

彼らの音楽に対する真摯な態度は確実に私の音楽に対する姿勢をも正してくれますし、自覚と責任とスリルとを良質のストレスとして与え続けてくれます。

私事ですが、こんな演奏会からスタートできる今年、私は50歳に成ります！バッハと歩んでこられた事以外には、体重しか誇れるものの無い私ではありますが、その事を心から感謝しつつ、今後の人生をバッハによって更に豊かにして貰おうと願っております。あなたも次回は是非ステージにどうぞ！

指揮者 辻 秀幸



プログラム



作曲 ヨハン・ゼバスティアン・バッハ
Johann Sebastian Bach (1685-1750)

カンタータ第116番『汝 平和の君、主イエス・キリスト』
“Du Friedefürst, Herr Jesu Christ” BWV116

(2)小田 奈穂子[A] (3)中西 隆紀[T]
(4)室橋 明美[S]／室橋 義明[T]／武内 崇史[B] (5)竹内 望[A]

カンタータ第72番『全てはただ神の御心のままに』
“Alles nur nach Gottes Willen” BWV72

(2・3)湊 佳代[A] (4)下平 泰裕[B] (5)崎谷 芳恵[S]

～ 休 憩 ～

カンタータ第144番『おのがものを取りて、行け』
“Nimm, was dein ist, und gehe hin” BWV144

(2)柿原 紀子[A] (4)内藤 秀司[T] (5)羽田 康子[S]

カンタータ第104番『イスラエルの牧者よ、耳を傾けたまえ』
“Du Hirte Israel, höre” BWV104

(2・3)羽田 耕太郎[T] (4)椿山 俊和[B] (5)木下 剛[B]

指揮 辻 秀幸

管弦楽 Millennium Bach Ensemble

声楽 Ensemble14

カンタータ第116番「汝 平和の君、主イエス・キリスト」

Du Friedefürst, Herr Jesu Christ BWV116

初演：1724年11月26日 ライプツィヒ

福音書：マタイによる福音書第24章第15-28節（世の終わりに起こる誘惑）

J.エーベルトの同名コラールに基づくコラールカンタータ。世の終末に「人の子」の再臨に先立って起こる「大きな艱難」。混乱、偽預言者の誘惑に耐え忍んだ者だけが、救われると説く。

1. コラール合唱

第1 ヴァイオリンが協奏風に主導する器楽合奏の中に、コラールが歌い込まれていく。

「平和の君」イエスに呼びかける1、2行と、「あなたの父に叫ぶ」という最終行では、全体で声を揃えて長い音符を唱和するのに対し、「苦しみの中での力強い助力者」という中間部では、下3声が活発なフーガを展開し、歌詞の内容に即した曲付けがなされている。

2. アリア（アルト）

うねるようなオーボエ・ダモーレの旋律にのせ、裁きの時における苦悩と恐怖が歌われる。Achという溜息や、Angst（悩み）という言葉に付けられたヴィブラートに、感情の大きさが表れている。

3. レチタティーヴォ（テノール）

再び「平和の君」への呼びかけ。通奏低音部にコラール旋律が2度引用されている。

4. アリア（三重唱：ソプラノ、テノール、バス）

贖罪の祈りの音楽。Geduld（忍耐）の溜息のモチーフ、Herz（心）、Schmerz（痛み）の長い音、Gefallnen（墮落者）の下行形のメリスマが目玉を引く。

5. レチタティーヴォ（アルト）

苦しげに哀願しながらも、イエスへの信頼は力強く揺るぎ無く、最後のbeständig Friede（絶えざる平和）で明るい曲想となって終わる。

6. コラール

迷いなく澄んだ和声により、神への信頼と感謝を改めて歌い、全曲を閉じる。

1.Chor

Du Friedefürst, Herr Jesu Christ,
wahr' Mensch und wahrer Gott,
ein starker Nothelfer du bist
im Leben und im Tod.
Drum wir allein
im Namen dein
zu deinem Vater schreien.

2.Aria (Alto)

Ach, unaussprechlich ist die Not
und des erzürnten Richters Dräuen!
Kaum, daß wir noch in dieser Angst,
wie du, o Jesu, selbst verlangst,
zu Gott in deinem Namen schreien.

3.Recitativo (Tenor)

Gedenke doch,
o Jesu, daß du noch
ein Fürst des Friedens heißest!
Aus Liebe wolltest du dein Wort uns senden.

Will sich dein Herz auf einmal von uns wenden,
der du so große Hülfe sonst beweisest?

4.Aria (Terzett : Soprano, Tenor&Bass)

Ach, wir bekennen unsre Schuld
und bitten nichts als um Geduld
und um dein unermeßlich Lieben.
Es brach ja dein erbarmend Herz,
als der Gefallnen Schmerz
dich zu uns in die Welt getrieben.

5.Recitativo (Alto)

Ach, laß uns durch die scharfen Ruten
nicht allzu heftig bluten!
O Gott, der du ein Gott der Ordnung bist,
du weißt, was bei der Feinde Grimm
vor Grausamkeit und Unrecht ist.
Wohlan, so strecke deine Hand
auf ein erschreckt geplagtes Land,
die kann der Feinde Macht bezwingen
und uns beständig Friede bringen!

6.Choral

Erleucht auch unser Sinn und Herz
Durch den Geist deiner Gnad,
Daß wir nicht treiben draus ein Scherz,
Der unsrer Seelen schad.

O Jesu Christ,
Allein du bist,
Der solchs wohl kann ausrichten.

1.合唱

平和の君、主イエス・キリストよ
真の人であり、まことの神であり
力強い救い手なのです、あなたは、
生においても、死においても。
ですから、私たちはただ
あなたの名においてのみ
あなたの父に向かって叫ぶのです。

2.アリア (アルト)

ああ、言い表すことはできません、この苦しみと
怒れる裁き主の脅威は！
私たちはこの不安の中で
あなたが、おおイエスよ、自ら求めたように
神にあなたの名で叫ぶこともままならないのです。

3.レチタティーヴォ (テノール)

どうか忘れないで下さい、
おおイエスよ、あなたは今なお
平和の君であるということ！
愛ゆえに、あなたは御言葉を私たちに送ろうと
してくださいました。
あなたの心は、突然私たちを見捨てるのでしょうか？
あなたがいつも、とても大きな救いを示してくださる
者たちを。

4.アリア (三重唱 : ソプラノ、テノール、バス)

ああ、私たちは自らの罪を認め
何ひとつ願いません、忍耐の他に
そしてあなたの計り知れない愛の他には。
あなたの憐れみの心は張り裂けてしまったのですから
墮落した人々の痛みが
あなたをこの世の私たちの許へと駆り立てた時に。

5.レチタティーヴォ (アルト)

ああ、私たちに、激しいむちによって
あまりにも激しく血を流させないでください！
おお神よ、あなたは秩序の神、
あなたはわかっておいでです、敵の憤怒の下で
残酷な行いと不正とに直面しているものを。
さあ、どうかあなたの手を差し伸べてください
怯え、苦しんでいる地上へと。
あなたの手は敵の力に打ち勝ち、
私たちに揺るぎない平安をもたらししてください！

6.コラール

照らしてください、私たちの思いと心をも
あなたの恵みの霊を介して。
そうしてくださるおかげで、
私たちが、自らの魂を損なう軽々しい振る舞いを
しないで済むように。

おお、イエス・キリストよ
ただあなただけなのです、
そんなことを十分に成し得る方は。

カンタータ第72番「全てはただ神の御心のままに」

Alles nur nach Gottes Willen BWV72

初演：1726年1月27日 ライプツィヒ

福音書：マタイによる福音書第8章第1-13節（信仰ある者に起こる、イエスの癒しの奇跡）

良き時にも悪しき時にも、おのれの全てを神にゆだねる。キリスト教信仰における最も重要な想念のひとつである、神への絶対的信頼が、終始揺らぐことなく貫かれている。

1. 合唱

ヴァイオリンが印象的な前奏に導かれ、緊迫感ある合唱が始まる。Alles（全てを）の言葉は、様々な音型で表される。途中、Gottes Wille soll mich stillen（神の意志は私を鎮めるだろう）の部分では、穏やかな曲想となる。

後年、この曲は「ミサ曲ト短調（BWV235）」のGloria に転用された。

2. レチタティーヴォとアリオーゾ（アルト）

神の御心に全てをゆだねることの幸福が列挙される。何度も繰り返されるHerr, so du willst（主よ、御心ならば）の句は、福音書章句における、重い皮膚病を患った信仰ある人の言葉による。

3. アリア（アルト）

前曲からそのまま引き続いて、おのれの全てをイエスに捧げる心が歌われる。途中から加わるヴァイオリンの二重奏が非常に美しい。

4. レチタティーヴォ（バス）

たとえ十字架の苦難においても主を依り頼むべしと歌う。最後の一節は、福音書の語るイエスの癒しの行為に触れている。

5. アリア（ソプラノ）

「イエスは、お前の十字架を甘くしてくださるだろう——」どこか恍惚とした喜びを感じさせる音楽で、ひたすらに神を信頼する心を歌う。

6. コラール

「マタイ受難曲」でも使われている著名なコラール。全曲を貫く理念が集約されている。

1.Chor

Alles nur nach Gottes Willen,
so bei Lust als Traurigkeit,
so bei gut als böser Zeit.
Gottes Wille soll mich stillen
bei Gewölk und Sonnenschein.
Alles nur nach Gottes Willen,
dies soll meine Losung sein.

2.Recitativo&Arioso (Alto)

O sel'ger Christ, der allzeit seinen Willen
in Gottes Willen senkt, es gehe, wie es gehe
bei Wohl und Wehe.

Herr, so du willst,
so muß sich alles fügen!

Herr, so du willst,
so kannst du mich vergnügen!

1.合唱

全ては唯、神の御心のままに、
喜びの時も、悲しみの時も
善いときも悪いときも。
神の意志は私を満たすだろう
雲と陽の光の中で。
全ては唯、神の御心のままに、
それが私の金言となるだろう。

2.レチタティーヴォ&アリオーゾ（アルト）

おお、幸いなるキリスト者です、常に彼の意志を
神の意志の下に置き、なるがままに任せ、
幸せの時も苦痛の時もそうする者は。

主よ、あなたが望めば、
全てがそれに従います！

主よ、あなたが望めば、
あなたは私を喜ばすことができます！

Herr, so du willst,
verschwindet meine Pein!
Herr, so du willst,
werd ich gesund und rein!
Herr, so du willst,
wird Traurigkeit zur Freude,
Herr, so du willst,
find ich auf Dornen Weide,
Herr, so du willst,
werd ich einst selig sein!
Herr, so du willst,
—laß mich dies Wort im Glauben fassen,
und meine Seele stillen—
Herr, so du willst,
so sterb ich nicht,
ob Leib und Leben mich verlassen,
wenn mir dein Geist dies Wort ins Herze spricht:

3.Aria (Alto)

Mit allem, was ich hab und bin,
will ich mich Jesu lassen!
Kann gleich mein schwacher Geist und Sinn
des Höchsten Rat nicht fassen.
Er führe mich nur immer hin
auf Dorn- und Rosenstraßen.

4.Recitativo (Bass)

So glaube nun!
Dein Heiland saget: Ich wills tun!
Er pflegt die Gnadenhand
noch willigst auszustrecken,
wenn Kreuz und Leiden dich erschrecken.
Er kennet deine Not
und löst dein Kreuzesband.
Er stärkt, was schwach,
und will das niedre Dach
der armen Herzen nicht verschmähen,
darunter gnädig einzugehen.

5.Aria (Soprano)

Mein Jesus will es tun,
er will dein Kreuz versüßen.
Obgleich dein Herze liegt in viel Bekümmernissen,
soll es doch sanft und still in seinen Armen ruhn,
wenn es der Glaube faßt: mein Jesus will es tun!

6.Choral

Was mein Gott will, das g'scheh allzeit,
Sein Will, der ist der beste,
Zu helfen den'n er ist bereit,
Die an ihn glauben feste.
Er hilft aus Not, der fromme Gott,
Und züchtigt mit Maßen.
Wer Gott vertraut, fest auf ihn baut,
Den will er nicht verlassen.

主よ、あなたが望めば、
私の苦悩は消え去ります！
主よ、あなたが望めば、
私は健康で清くなります！
主よ、あなたが望めば、
悲しみは喜びに変わります。
主よ、あなたが望めば、
私は茨の上にも牧場を見いだします。
主よ、あなたが望めば、
私はいつか至福になります！
主よ、あなたが望めば、
—私にこの言葉を信仰の中で理解させて、
私の魂を静めてください—
主よ、あなたが望めば、
私は死にません
私の体と生命は消え去ろうとも、
あなたの霊が私の心にそう語ってくれるなら。

3.アリア (アルト)

私が持つものと、私の存在をもって、
私はイエスに自身をゆだねます！
私の弱い魂と心がすぐに
至高者の助言を理解出来なくても、
主が私をいつも前へと導いてくれますように、
茨と薔薇の道を通して。

4.レチタティーヴォ (バス)

さあ、今こそ信じるのだ！
あなたの救い主は言われた、「私は行こう！」と。
主は恩寵の手を常に保ち、
それを喜んで差し伸べる、
十字架と受難があなたを脅かすときに。
主はあなたの悩みを知っており、
あなたの十字架の縛めをほどいてくれる。
主は弱きものを強くし、
貧しい心の低い屋根を
さげすまずに、
その下に慈悲深くも入って行くのだ。

5.アリア (ソプラノ)

主はそれを行うでしょう、
主はあなたの十字架を和らげてくれるでしょう。
あなたの心がたくさんの憂いの中に横たわっていても、
それは主のみ腕の中で優しく静かに落ち着くでしょう。
信仰があなたの心をとらえるとき、
主はそれを行うでしょう！

6.コラール

私の神の意志は常に行われる、
神の意志、それは最上である。
神は備える、
神を固く信じる者を助けるために。
眞の神は苦悩から助け出し、
節度を持って懲らしめる。
神を頼る者、固く信じる者から
神は離れることはない。

カンタータ第144番「おのがものを取りて、行け」

Nimm, was dein ist, und gehe hin BWV144

初演：1724年2月6日 ライプツィヒ

福音書：マタイによる福音書第20章第1-16節（ぶどう園の労働者のたとえ、仕える者になれ）

マタイ福音書における「ぶどう園の労働者たち」のたとえに基づき、「おのがもの」すなわち神の与えたもうたもので満足すべしという教えを主題とする。

1. 合唱

装飾的な部分のほとんど無い簡素な器楽伴奏にのせ、「おのがものを取りて、行け」という歌詞のみをひたすらフーガで繰り返す。特別盛り上がる所もない曲想、あっさりとした終わり方も併せ、このカンタータの主題をよく感じさせる。

2. アリア（アルト）

不平をもらすキリスト者に対するいましめ。前奏部から、弦に不平の弦きを示す音型が現れる。しかし充足を説く中間部では、この音型は消失する。

3. コラール

「神のなさることは善きこと」。簡素な和声付けによって、神への信頼を歌う。

4. レチタティーヴォ（テノール）

Genügsamkeit（慎みの心）に従うことこそ、神の意志により、満ち足りて生きることにつながるのであり、おのれの欲望を追求すればその逆を行くと説く。

5. アリア（ソプラノ）

前曲の内容を噛み締め、確かなものとするように、Genügsamkeit（慎みの心）という言葉は、全曲にわたり10回以上も歌われる。

6. コラール

バッハの曲では馴染みの深い、神の意志を賛美し、固い信頼を歌うコラールで締めくくる。

1.Chor

Nimm, was dein ist, und gehe hin.

2.Aria (Alto)

Murre nicht, lieber Christ,
wenn was nicht nach Wunsch geschieht,
sondern sei mit dem zufrieden,
was dir dein Gott hat beschieden,
er weiß, was dir nützlich ist.

3.Choral

Was Gott tut, das ist wohlgetan,
Es bleibt gerecht sein Wille;
Wie er fängt meine Sachen an,
Will ich ihm halten stille.
Er ist mein Gott,
Der in der Not
Mich wohl weiß zu erhalten:
Drum lass' ich ihn nur walten.

4.Recitativo (Tenor)

Wo die Genügsamkeit regiert
und überall das Ruder führt,
da ist der Mensch vergnügt
mit dem, wie es Gott fügt.
Dagegen, wo die Ungenügsamkeit das Urteil spricht,
da stellt sich Gram und Kummer ein,
das Herz will nicht zufrieden sein,
und man gedenket nicht daran:
Was Gott tut, das ist wohlgetan.

5.Aria (Soprano)

Genügsamkeit ist ein Schatz in diesem Leben,
welcher kann Vergnügung geben
in der größten Traurigkeit, Genügsamkeit.
Denn es lasset sich in allen
Gottes Fügung wohl gefallen: Genügsamkeit.

6.Choral

Was mein Gott will, das g'scheh allzeit,
Sein Will, der ist der beste.
Zu helfen den'n er ist bereit,
Die an ihn glauben feste.
Er hilft aus Not, der fromme Gott,
Und züchtiget mit Maßen.
Wer Gott vertraut, fest auf ihn baut,
Den will er nicht verlassen.

1.合唱

おのがものを取りて、行け。

(『マタイによる福音書』第20章第14節)

2.アリア (アルト)

親愛なるキリスト者よ、ぶつぶつ不平を言ってはならない
たとえ思い通りにいかなかったとしても。
むしろ満足しなさい、
神があなたに授けたものに、
神は何があなたの助けとなるかを知っておられる。

3.コラール

神がなされることは全く理にかなったものである。
その方の意志はいつも正しい。
その方がわたしに取り計らってくださることに、
わたしは何もいうことはない。
その方はわたしの神。
苦難にあっても
わたしを忘れることなく支えてくださる。
だからわたしは神のなされることにひたすら従う。

4.レチタティーヴォ (テノール)

慎みの心が支配し、
慎みの心が舵として導いていくところならどこでも、
人は満足するのだ、
神が取り計らうことに。
一方で欲深き心に判断をゆだねると、
悲嘆と落胆が生じ、
その心はけっして満足はしないだろう。
そしてそれについて思い出すこともないのだ。
神が行うことは全く理にかなっているということ。

5.アリア (ソプラノ)

慎みの心は人生において宝だ。
慎みの心はこの上なく大きな悲しみのなかで
喜びを与えることができる。
というのは、あらゆるなかで、
神の摂理に全くかなうものは慎みの心なのだから。

6.コラール

神の意志は、常に行われる。
その意志は最善である。
なぜなら助けを施すことが神の企図するところなのだから
神を固く信じるものに対して。
善なる神は苦しみから救うとともに
適度に懲らしめもする。
神を信じ、揺るぎない信頼を寄せるもの、
それを神は見放したりはしないだろう。

カンタータ第104番「イスラエルの牧者よ、耳を傾けたまえ」

Du Hirte Israel, höre BWV104

初演：1724年4月23日 ライプツィヒ

福音書：ヨハネによる福音書第10章第12-16節（善き羊飼いの説話）

イエスが「善き羊飼い」として表象される、復活祭後第2日曜日の礼拝用のカンタータとして作られ、田園的な魅力に溢れた作風となっている。

1. 合唱

明るく生き生きとした3連音符の旋律にのせ、「善き牧者」への呼びかけを歌う。途中、二度のフーガを挟み、終始喜ばしさに満ちて唱和する。

2. レチタティーヴォ（テノール）

前曲とは対照的に、思い迷う心。最後のアリオーゾ部分で Gott ist getreu（神は誠実である）と歌いながらも、不安は拭い切れていない。

3. アリア（テノール）

迷える羊たる者が、牧者を探して荒野を歩み続ける、その不安が音によく表れている。しかし唯一、durch dein Wort（あなたの御言葉によって）の部分のみ、微かに希望を感じさせる。

4. レチタティーヴォ（バス）

その「御言葉」こそが自分の魂の糧であると確信した者。再び、力強さと希望に満ちて、牧者へと呼びかける。

5. アリア（バス）

喜ばしくも落ち着いた曲想で、牧者の支配する浄福の国が歌われる。中間部では、「死の眠り」が印象深く描かれる。

6. コラール

主の御言葉に従い、主の牧する羊として生きるという内容にふさわしく、天国的な喜びを感じさせる曲想のコラール。

1.Chor

Du Hirte Israel, höre
der du Joseph hütetest wie der Schafe,
erscheine, der du sitztest über Cherubim.

2.Recitativo (Tenor)

Der höchste Hirte sorgt vor mich,

was nützen meine Sorgen?
Es wird ja alle Morgen
des Hirten Güte neu.
Mein Herz, so fasse dich,
Gott ist getreu.

3.Aria (Tenor)

Verbirgt mein Hirte sich zu lange,
macht mir die Wüste allzu bange,
mein schwacher Schritt eilt dennoch fort.
Mein Mund schreit nach dir,
und du, mein Hirte,
wirkst in mir
ein gläubig Abba durch dein Wort.

4.Recitativo (Bass)

Ja, dieses Wort ist meiner Seelen Speise,
ein Labsal meiner Brust,
die Weide, die ich meine Lust,
des Himmels Vorschmack, ja, mein alles heiße.
Ach! sammle nur, o guter Hirte,
uns Arme und Verirrte;
ach, lass den Weg nur bald geendet sein
und führe uns in deinen Schafstall ein.

5.Aria (Bass)

Beglückte Herde, Jesu Schafe,
die Welt ist euch ein Himmelreich.
Hier schmeckt ihr Jesu Güte schon
und hoffet noch des Glaubens Lohn
nach einem sanften Todesschlafe.

6.Choral

Der Herr ist mein getreuer Hirt,
Dem ich mich ganz vertraue;
Zur Weid er mich, sein Schäflein, führt
Auf schöner grünen Aue;
Zum frischen Wasser leit' er mich,
Mein Seel zu laben kräftiglich
Durchs selig Wort der Gnaden.

1.合唱

イスラエルの羊飼いや、お聞きください
ヨセフを羊のように護られるお方よ、
姿を現してください、ケルビムの上に座するお方よ。
(『詩編』第80編第2節)

2.レチタティーヴォ (テノール)

いと高き羊飼いが私のことを
心にかけてくださるのですから、
私が何を心配することがあるでしょう？
そう、朝がくるたびに
その羊飼いの慈しみは新たになるのです。
私の心よ、落ち着きなさい、
神は誠実なお方なのですから。

3.アリア (テノール)

私の羊飼いは長く身をお隠しになり、
私をこの荒野があまりにも不安にさせますが、
私は弱々しい歩みでそれでも前へと急ぎます。
私の口はあなたを求めて叫びます、
そしてあなたは、私の羊飼いや、
私に与えてくださいます、
信心深い「アッバ(父よ)」という呼び声を、
あなたの御言葉を通じて。

4.レチタティーヴォ (バス)

そうです、この御言葉こそが私の魂の糧、
私の心を元気づけてくれるもの、
私の喜びの牧場、
天国の前触れ、まさしく私のすべてです。
ああ！どうか集めてください、おお、よき羊飼いや、
私たち、哀れな迷える者たちを。
ああ、この道をどうかすぐに終わらせて、
私たちをあなたの羊小屋の中へとお導きください。

5.アリア (バス)

恵まれた群れよ、イエスの羊たちよ、
この世はおまえたちにとってひとつの天国なのです。
ここでおまえたちはイエスの慈しみをすでに味わい、
その信仰の報いまでをも期待するのですから、
穏やかな死の眠りの先に。

6.コラール

主は私の誠実な羊飼いや、
この方を私は完全に信頼しています。
牧場へと主は私を、主の小さい羊を、導いてくださいます、
美しい緑の野で。
清らかな水へと主は私を導き、
私の魂を力強く潤してくださいます、
恵みの至福なる御言葉を通じて。

指揮 辻 秀幸

Ensemble 14 指揮者。東京芸術大学声楽科卒業 及び 同大学院独唱科修了。
声楽を渡邊高之助、宗教音楽を小林道夫、佐々木正利の各氏に師事。1985年イタリアのミラノを中心にヨーロッパへ音楽遊学。L.グッアリーニ女史、F.タリアヴィーニ、H.リリングらの各氏に師事。1986年イタリアのノバラ市国際声楽コンクール入賞。同年ドイツのハイデルベルク、1988・89年にはウィーン楽友協会大ホール、2000年にはカイザースラウテルン、パッサウ他、数都市でベートーヴェン"第9"のソリストを務め、ヨーロッパ各地でコンサートに出演し好評を博す。国内でもドイツ・イタリア・日本歌曲を中心に各地でユニークなリサイタル活動を展開している。オペラにも数多く出演し、その優れた演技力と歌唱は、新聞・音楽誌上でも度々絶賛された。宗教音楽の演奏家としての活躍は特に目覚ましく、バッハ・ヘンデル・ハイドンの宗教曲・オラトリオの演奏では、ソリスト・エヴァンゲリストまた指揮者として、その活動は常に注目を集めている。現在指導に当たるアマチュアコーラスは十数団体を数える。洗足学園音楽大学講師、尚美学園大学新音楽集団「匠」指揮者、ぐるーぷ・なーべ幹事、日本合唱指揮者協会会員、アンサンブル《BWV2001》メンバー、iARTS理事、NHKラジオ「みんなのコーラス」レギュラー解説者。共著に「わかって歌おうーレクイエム発音講座」、「フィガロの結婚 発音講座」等がある。

辻 秀幸 公式サイト： <http://www.davide-hide.com/>

管弦楽 Millennium Bach Ensemble (ミレニウム・バッハ・アンサンブル)

2000年4月に田園調布教会で行われた「マタイ受難曲」演奏会において辻秀幸先生の呼びかけにより結成される。各方面で活躍中の若手演奏家からなる器楽団体。第2回演奏会以降、Ensemble14との共演が続いている。

第一ヴァイオリン	大西 律子
第二ヴァイオリン	磯田 ひろみ
ヴィオラ	富田 大輔
チェロ	高群 輝夫
コントラバス	寺田 和正
オルガン	平野 智美
オーボエ	工藤 亜紀子、木村 奈津美、本多 啓祐
ファゴット	井上 直哉

声楽 Ensemble 14 (アンサンブル・フィアツェン)

辻秀幸先生のもとでJ.S.バッハのカンタータを歌うアマチュア合唱団。1998年8月結成。ソリストは団内から選出し、プロのオーケストラ（現代楽器）と共演する演奏スタイルで、東京周辺にて活動。

【 Ensemble14 過去の演奏会 】

1999年4月	マタイ受難曲の抜粋演奏（ピアノ伴奏）に、「マタイを歌う会」とともに出演 （日本基督教団 奥沢教会）
1999年9月	第1回演奏会 カンタータ第150番、第155番、第106番 （ルーテル市ヶ谷センター）
2000年4月	マタイ受難曲の全曲演奏に第2コーラスとして出演 （日本基督教団 田園調布教会）
2000年9月	第2回演奏会 カンタータ第196番、第131番、第182番 （神奈川県民ホール 小ホール）
2001年3月	第3回演奏会 カンタータ第22番、第48番、第23番 （すみだトリフォニーホール 小ホール）
2001年9月	第4回演奏会 カンタータ第1番、第27番、第140番 （川口総合文化センター リリア音楽ホール）
2002年3月	第5回演奏会 カンタータ第36番、第61番、ミサ曲ト短調 （三鷹市芸術文化センター 風のホール）
2002年9月	第6回演奏会 カンタータ第5番、第47番、第70番 （四谷区民ホール）
2003年5月	第7回演奏会 ヨハネ受難曲 （津田ホール）
2004年3月	第8回演奏会 カンタータ第17番、第44番、第139番、モテットBWV227 （三鷹市芸術文化センター 風のホール）
2004年9月	第9回演奏会 カンタータ第4番、第6番、ミサ曲ト長調 （横浜みなとみらいホール 小ホール）
2005年9月	第10回演奏会 マタイ受難曲 （日本大学 カザルスホール）
2006年6月	第11回演奏会 カンタータ第8番、第99番、第105番、第187番 （上野学園 石橋メモリアルホール）
2007年2月	第12回演奏会 サンクトゥス二長調、カンタータ第10番、マニフィカト変ホ長調 （上野学園 石橋メモリアルホール）

指揮者：辻 秀幸

練習ピアニスト：田城 章子

代表：武内 崇史

副代表：内藤 秀司、小林 尚弘、三浦 貴博

練習指揮：室橋 明美、椿山 俊和、菅野 松佐登、木下 剛

会計：柿原 紀子

《ソプラノ》	《アルト》	《テノール》	《バス》
植屋 留美	上田 暁子	佐藤 容司	木下 剛
浦沢 千代	小田奈穂子	内藤 秀司	小林 尚弘
川村 昌子	柿原 紀子	中西 隆紀	下平 泰裕
子井野真貴子	小林 愛子	羽田耕太郎	菅野松佐登
崎谷 芳恵	重野真奈美	室橋 義明	武内 崇史
菅野 総子	竹内 望		次田 章
羽田 康子	中井 洋子		椿山 俊和
湊 佳代	名倉 芳実		藤田 俊一
室橋 明美	山形可奈子		三浦 貴博

Ensemble14 (アンサンブル・フィアツェン)
第13回 演奏会プログラム

発行日:2008年1月13日


発行元:Ensemble14

作成:北郷 博美

校正:柿原 紀子、上田 暁子


●無断転載・複製を禁じます。

©All rights reserved Ensemble14

 一緒に歌いませんか

Ensemble14では一緒に歌って下さる方を随時募集しております。
バッハが大好きな方はもちろん、バッハが初めての方も歓迎です。

合唱指導	辻 秀幸 先生
練習日	毎週土曜日（午前または午後）
練習場所	自由が丘、武蔵小杉など
お問い合わせ	Tel : 090-3816-2565（小林） e-mail : info@ensemble14.org
ホームページ	http://www.ensemble14.org/

 第14回演奏会のご案内

2008年11月16日 川口総合文化センター リリア音楽ホール
J.S.バッハ作曲
カンタータ 第78番 『イエスよ、汝はわが魂を』 BWV 78
カンタータ 第12番 『泣き、歎き、憂い、怯え』 BWV 12
カンタータ 第147番 『心と口と行いと生きざまもて』 BWV147